学校番号	T0315

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	（学）古典演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典を読む上での基本的な知識から正しく心情を理解する上で必要な語彙力や文法の知識など幅広く進めていきます。
・文章をただ読むだけではなく、人物関係や時代背景などに気をつけながら読み進めていきましょう。
・古文だけでなく漢文にも触れるため、読み方や漢文を読む上でのルールなど基礎的部分から一つずつ身に着けてください。
・授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになること。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようになること。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとすること。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」・「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	古文に親しむ ［教材］ 「古文入門」独自教材プリント 「阿蘇の史、盗人にあひてのがるること」独自教材プリント	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：作品に興味をもち、事件の展開や登場人物の行動を読み取ろうとしている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・音読	・机間巡視 ・音読
	随筆に親しむ ［教材］ 「徒然草　高名の木登り」独自教材プリント 「徒然草　公世の二位のせうとに」独自教材プリント	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：「徒然草」に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・課題 ・音読	・机間巡視 ・課題 ・音読
	随筆を楽しむ ［教材］ 「枕草子　にくきもの」独自教材プリント	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 書 ］：「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。 c：「枕草子」に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとしている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・音読	・机間巡視 ・音読
2	物語に親しむ ［教材］ 「平家物語　木曽の最期」独自教材プリント	a：言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。 b［ 読 ］：「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：「平家物語」に興味をもち、音読して文体の特徴を味わったり、人物の心情の変化を読み取ったりしようとしている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・課題 ・音読	・机間巡視 ・課題 ・音読
	物語を楽しむ ［教材］ 「伊勢物語　あづま下り」独自教材プリント	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取ろうとしている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・音読	・机間巡視 ・音読
	漢文に触れる ［教材］ 「漢文入門」独自教材プリント	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b［ 読 ］：「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・課題 ・音読	・机間巡視 ・課題 ・音読

	故事成語に親しむ ［教材］ 「五十歩百歩」独自教材プリント 「借虎威」独自教材プリント	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[　読　]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・課題 ・音読	・机間巡視 ・課題 ・音読
	古人に学ぶ ［教材］ 「論語　学問のすすめ」独自教材プリント 「論語　社会に生きる」独自教材プリント	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[　読　]:「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 c:　漢文を読むことに興味をもち、『論語』と現代との関わりについて考えを深めようとしている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・課題 ・音読	・机間巡視 ・課題 ・音読
3	漢文を楽しむ ［教材］ 「完璧」独自教材プリント 「鶏鳴拘盗」独自教材プリント	a:時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 b[　読　]:「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:　漢文に興味をもち、その知恵や教訓を積極的に読み取ろうとしている。	・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・定期考査 ・音読	・机間巡視 ・音読

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間